

款	衛生費	項	保健衛生費
事業名	各種予防接種事業		
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	7,984千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 7,984千円

【事業の概要】

1 二種混合予防接種の個別接種化

小学校6年生対象に集団接種を実施していた二種混合（ジフテリア、破傷風）第2期の予防接種を、平成25年度から個別接種に切り替え、国の予防接種実施要領に基づいた予防接種体制にしました。

対 象 者	市内の11歳及び12歳の児童
実施方法	協力医療機関での個別接種
実施時期	4月～翌年3月
実施回数	1回
委 託 先	土浦市医師会
周知方法	個人通知
実 績	5,429千円 936人 (1件当たり5,800円)

2 風しん予防接種費用の助成

平成24年度から平成25年度にかけて風しんが大流行し、妊娠初期に風しんに罹患すると、視覚、聴覚、心臓障害等胎児への影響を及ぼす「先天性風疹症候群」という病気にかかることがあります。そのため、妊娠を予定し、又は希望している女性や妊娠している女性の夫を対象に風しん予防接種費用の一部助成を行いました。

対 象 者	19歳から49歳までの市民のうち次の者 ①妊娠を予定し、又は希望している女性 ②妊娠している女性の夫
助成期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
助 成 額	麻しん風しん混合ワクチン 5,000円 風しん単抗原ワクチン 3,000円
助成回数	1回のみ
ワクチンの種類	麻しん風しん混合ワクチン又は 風しん単抗原ワクチン
助成方法	病院で接種後、償還払い
実 績	2,555千円 547人 接種者内訳①女性 418人 ②妊婦の夫 129人 接種者 ①10代 1人 年齢別内訳②20代 178人 ③30代 334人 ④40代 34人

【事業の成果】

国の予防接種実施要領では、原則保護者の同伴が必要であるとされていることから、個別接種に切り替えたことで、安全な予防接種体制が整えられ、感染予防に寄与することができました。また、風しんの予防接種費用の一部を助成することで、先天性風疹症候群の発生予防に寄与することができました。

款	衛生費	項	保健衛生費				
事業名	健康つちうら21計画及び食育推進計画策定事業						
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり						
決算額	2,468千円	財源内訳	国県支出金等	2,295千円	一般財源		173千円

【事業の概要】

現計画である土浦市健康増進計画「健康つちうら21」の計画期間が平成26年度で満了となることから、平成27年度から平成31年度までの5年間の計画期間とする第2次計画を策定します。また、新たに、土浦市食育推進計画を、第2次計画の策定に合わせて一体的に策定し、市民の健康増進を総合的かつ効果的に推進することにより、「笑顔があふれる 健康なまちつちうら」を目指します。

1 計画の位置付け

本計画は、「第7次土浦市総合計画」を上位計画とし、「土浦市特定健康診査等実施計画」等市が策定した関連する各種計画との整合性を図りながら策定します。また、国が策定した「健康日本21（第2次）」及び「第2次食育推進基本計画」と茨城県が策定した「第2次健康いばらき21プラン」、「茨城県食育推進計画」の理念に基づき、全ての市民が健康づくりに取り組む行動計画として策定します。

2 計画の期間 平成27年度～平成31年度（5年間）

3 計画策定の体制

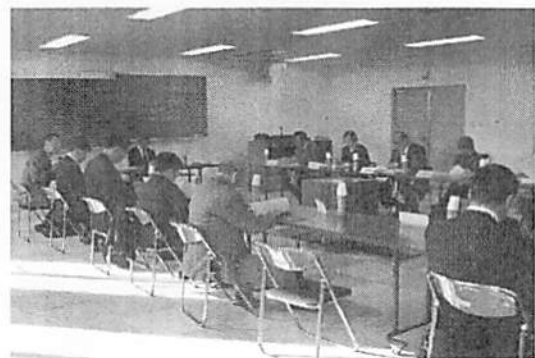
- ・健康つちうら21計画推進委員会
有識者や関係機関及び団体の代表者で構成 委員数：18人
- ・健康つちうら21計画策定ワーキングチーム
市関係各課員で構成 委員数：16人

4 事業計画

- 平成25年度 健康つちうら21計画推進委員会（開催2回）
健康つちうら21計画策定ワーキングチーム（開催2回）
土浦市健康づくりアンケート調査の実施
一般市民 2,988人、小学5年生 542人、
中学2年生 285人、高校2年生 228人
- 平成26年度 健康つちうら21計画推進委員会（開催3回を予定）
健康つちうら21計画策定ワーキングチーム（開催3回を予定）

5 平成25年度事業費（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
報償費	173	推進委員謝礼
需用費	46	アンケート調査用 消耗品
役務費	485	アンケート郵送料
委託料	1,764	第2次健康つちうら21 計画策定委託
合 計	2,468	



健康つちうら21推進委員会

【事業の成果】

平成25年度は、健康づくりアンケート調査を実施し、市民、児童・生徒の意見を反映させながら計画の骨子案を作成し、「健康つちうら21計画推進委員会」及び「健康つちうら21計画策定ワーキングチーム」において審議を重ね、食育推進計画と健康増進計画を総合的に推進するための具体的な計画の検討を進めることができました。

款	衛生費	項	保健衛生費
事業名	「ウォーキングから始める健康づくり」事業		
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり		
決算額	606千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 606千円

【事業の概要】

健康つちうら21計画に基づいて作成した「土浦元気アップロードマップ」を活用し、市民が「歩く」という継続的な運動習慣を身に付ける動機付けとなるよう、身近な地域でのウォーキング大会（本市主催の「元気アップウォーキング I N 土浦」及び運動普及推進員連絡協議会各支部ごとのウォーキング大会）を開催しました。

1 「元気アップウォーキング I N 土浦」 (単位：人)

実施日	支部名	コース	参加者数
平成25年5月26日(日)	六中	水郷公園～法泉寺コース	172

2 運動普及推進員連絡協議会ウォーキング大会 (単位：人)

実施日	支部名	コース	参加者数
平成25年4月6日(土)	二中	ワークヒル土浦～真鍋小コース	64
平成25年4月28日(日)	新治中	小野小町と峠越コース	107
平成25年9月29日(日)	四中	常福寺～桜川遊歩道コース	68
平成25年10月27日(日)	五中	自然豊かな鶴沼コース	69
平成25年11月10日(日)	都和中	紫が丘公園コース	72
平成25年11月16日(土)	三中	乙戸沼公園コース	66
平成26年2月18日(火)	一中	城下町散策コース	52
平成26年3月29日(土)	六中	湖畔から桜並木コース	101
合 計			599



土浦元気アップロードマップ



元気アップウォーキング I N 土浦の様子

3 平成25年度事業費 (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費	599	参加記念品代、豚汁食材の購入、のぼり、ポスターの作成 他
役務費	7	傷害保険料
合計	606	

【事業の成果】

市民がウォーキング大会に参加することで、健康づくりのための運動習慣を身に付け、自らの健康づくりに積極的に取り組むきっかけづくりができました。また、参加者同士が交流を深め、心身ともに健康で生き生きとした生活を送ることで、健康寿命の延伸に寄与しました。

款	衛生費	項	保健衛生費			
事業名	「血糖値改善大作戦」事業					
施策の大綱名	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり					
決算額	484千円	財源内訳	国県支出金等	243千円	一般財源	241千円

【事業の概要】

健康診査結果から、血糖値の要保健指導者に対して保健指導を実施し、糖尿病などの生活習慣病の発症を予防することで、将来的に糖尿病患者の減少を図ります。また、被保健指導者を3年間追跡調査し、医療費の推移と健診結果等の評価を行うことで、保健指導の医療費削減効果を検証します。

- 1 対象者 : 20～69歳の健康診査受診者のうち、糖尿病予備軍の方
- 2 実施場所 : (1) 土浦市保健センター 40人 (平成25年度～平成27年度の3年間)
(2) 三中地区公民館 40人 (平成26年度～平成28年度の3年間)
- 3 実施内容 : 健康教室4回で1コース×3年間
医師講話、栄養指導、運動指導、採血及び個別指導、血圧、体脂肪、血管年齢等
医療費削減効果の検証
教室参加者と教室の対象者であった不参加者として、3年間の医療費の推移と健診結果への影響などで比較
- 4 講師 : 嘱託医、保健師、管理栄養士、食生活改善推進員、運動普及推進員、運動講師等



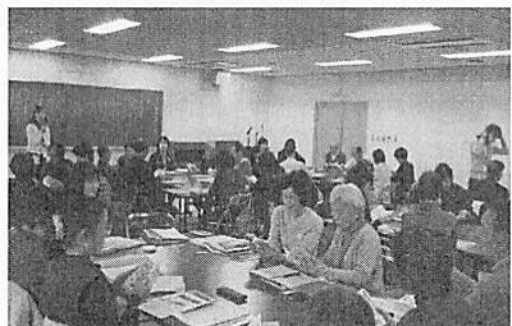
運動指導



採血

5 平成25年度事業費 (単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	97	栄養指導謝礼
需用費	119	パンフレット作成 試食用食材購入 他
委託料	268	採血検査委託
合計	484	



グループワーク

【事業の成果】

健康教室を受講した糖尿病予備軍の方は、現在食事や運動などそれぞれ自分に必要な生活習慣改善の目標を定め、実行しています。今後も、継続して実行することは、糖尿病などの生活習慣病の予防につながり、これらの方の健康寿命の延伸に寄与します。また、将来的に糖尿病性腎疾患からの人工透析患者を減少させ、又は、人工透析導入年齢を遅らせることで、1人につき年間約500～600万円掛かると言われている人工透析の医療費削減効果が期待できます。

款	衛生費	項	環境衛生費			
事業名	市営斎場整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり					
決算額	139,428千円	財源内訳	国県支出金等	115,300千円	一般財源	24,128千円

【事業の概要】

市営斎場を建て替えることにより、都市施設の機能更新と一層の利便性の向上を図ります。

新しい市営斎場は、式場等の施設充実だけでなく、公害防止設備を備えた火葬炉など、全ての利用者と環境に配慮した施設整備を図るため、平成25年度は前年度に引き続き、基本実施設計委託（履行期間平成24年9月1日～平成25年9月5日）を行いました。また、県道小野土浦線に面するメイン出入口に係る県道改良実施設計委託及び事業用地鑑定評価を行いました。

〔平成25年度分〕

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
委 託 料	76,431	市営斎場整備事業基本実施設計委託等
用地取得費	26,775	地権者2人
補 償 金	18,449	物件移転補償 1件
補 助 金	16,958	田中二丁目地区公民館施設改築事業費補助金
事 務 費	815	事業用地鑑定評価、消耗品、旅費等
合 計	139,428	

〔平成26年度への繰越分〕

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
委 託 料	2,561	工事監理委託（平成26年度へ繰越し）
工事請負費	156,521	建築主体工事等（平成26年度へ繰越し）
合 計	159,082	



新斎場エントランスイメージパース（基本実施設計）

【事業の成果】

基本実施設計及び県道改良実施設計を行い、施設計画及びメイン出入口に係る県道整備の具体的な設計が整いました。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

事業名	今泉第二霊園整備事業		
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	7,245千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 7,245千円

【事業の概要】

市営今泉第二霊園は、平成9年11月に総区画数4,100区画のうち最初にAブロック946区画を、平成21年6月にEブロックの一部384区画をそれぞれ第1期分として造成しました。平成25年度は、墓地需要が高い最少区画（3.3㎡）が残りわずかとなったことから、Eブロック第2期分として252区画を造成しました。

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委 託 料	294	拡張工事実施設計委託
工事請負費	6,951	拡張工事
合 計	7,245	



Eブロック2期分252区画

【事業の成果】

市営霊園の施設整備を行い、市民の墓地需要に対応することができました。

款	衛生費	項	清掃費		
事業名	プラスチック製容器包装分別収集事業				
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり				
決算額	11,959千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	11,959千円

【事業の概要】

プラスチック製容器包装の分別収集の実施・モデル地区の拡大により、更なるごみ減量化及びリサイクルを推進しました。

平成25年度事業費

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費	301	カラスネット購入他
委託料	11,508	収集運搬委託, 圧縮保管委託
備品購入費	150	説明会用プロジェクター購入
計	11,959	

プラスチック製容器包装分別収集モデル地区を11町内から21町内に拡大し実施しました。また、実施モデル地区住民のアンケート調査により事業の検証を行い、市内全域への実施に備えました。

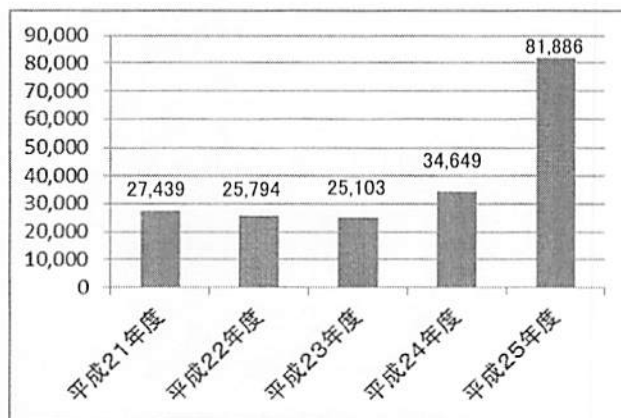
○収集回収 週1回

○対象世帯 約9,300世帯

平成25年度 町内別排出量 (単位：kg)

町 内 名	排出量
文京町	3,255
エスパイエルマンション	864
中村南三丁目	2,952
右廻3区	6,553
*まりやま新町	4,126
*城北町	3,111
*中村南六丁目	3,349
*西根南二丁目	2,900
荒川沖東二丁目	4,676
永国東町	6,544
並木三丁目	2,989
並木四丁目	1,109
*永国台	6,093
*蓮河原新町	2,802
*永国町	7,452
*天川一丁目	4,157
*天川二丁目	8,064
神立中央三丁目	2,871
神立中央五丁目	2,581
常名町	416
*国分町	5,022
合 計	81,886

*新規町内会



年間排出量の推移(単位: kg)



集積場の状況

【事業の成果】

第2次ごみ処理基本計画の目標値達成に向けた取組として、モデル事業として実施しているプラスチック製容器包装分別収集について、モデル地区を拡大し、更なるごみの減量化及び再資源化を図りました。

なお、可燃ごみからプラスチック製容器包装が分別されることで、ごみ処理施設の延命化とCO₂削減につながりました。また、平成26年度にはモデル地区を25町内に拡大し、平成27年度には市内全域での実施を予定しています。

款	衛生費	項	清掃費
事業名	生ごみ分別収集事業		
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	36,329千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 36,329千円

【事業の概要】

第2次ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、生ごみ分別収集をモデル事業として行い、ごみの減量化及びリサイクルを推進しました。また、バイオマスタウン構想に基づき、生ごみを資源物として有効に利活用しました。

〔平成25年度事業費〕

(単位:千円)

区 分	事 業 費	概 要
報 酬	270	廃棄物減量等推進審議会委員報酬
旅 費	43	廃棄物減量等推進審議会委員旅費
需 用 費	5,643	排出用ごみ袋購入他
委 託 料	30,373	生ごみ収集運搬、処理委託
計	36,329	

生ごみ分別収集モデル地区を19町内に拡大し実施しました。また、実施モデル地区住民のアンケート調査により事業の検証を行い、市内全域への実施に備えました。

- 収集回収 週2回
- 対象世帯 約6,800世帯

〔平成25年度町内別排出量〕 (単位: kg)

町 内 会	排出量
城北町	29,098
まりやま新町	33,222
烏山二丁目	40,219
*西根南一丁目	22,050
*西根南二丁目	25,004
*西根南三丁目	15,536
*中村南六丁目	22,321
*港町三丁目	19,577
*都和一丁目	16,400
*都和四丁目	5,980
*天川一丁目	29,108
*天川二丁目	34,069
*蓮河原新町	21,149
*永国町	42,145
*永国台	30,241
*荒川沖東二丁目	32,781
田中一丁目	18,904
*国分町	25,038
*神立中央三丁目	34,218
合 計	497,060

*新規町内会



生ごみ専用袋



集積場の状況

【事業の成果】

第2次ごみ処理基本計画の目標値達成に向けた取組として、モデル事業として実施している生ごみ分別収集について、モデル地区を拡大し、更なるごみの減量化及び再資源化を図りました。

なお、可燃ごみから生ごみが分別されることで、ごみ処理施設の延命化とCO₂削減につながりました。また、平成26年度にはモデル地区を24町内に拡大し、平成27年度には市内全域での実施を予定しています。

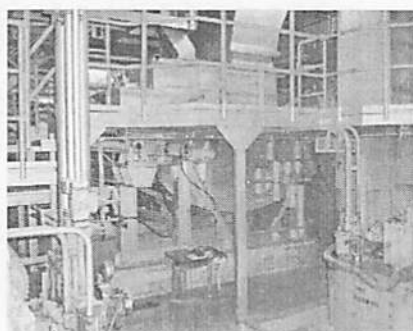
款	衛生費	項	清掃費															
事業名	使用済小型電子機器等リサイクル事業																	
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり																	
決算額	—	財源内訳	国県支出金等 — 一般財源 —															
【事業の概要】																		
今まで、可燃・不燃・粗大ごみとして排出され、焼却・埋立処理されていた使用済小型電子機器等（小型家電）を資源として回収し、小型家電に含まれる有用金属の有効利用を図るため、平成25年度から各中学校地区公民館等を拠点とした回収及び環境展等のイベントでの回収を実施しました。 なお、この事業は、環境省「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業」の採択を受け、国と連携して行いました。																		
・回収方法 ①ボックス回収（随時）11か所（市役所本庁舎、高津庁舎、清掃センター、各中学校地区公民館8か所） ②イベント回収 <table border="0"> <tr> <td>環境展</td> <td>平成25年11月 2日（土）</td> </tr> <tr> <td>三中地区文化祭</td> <td>平成25年11月17日（日）</td> </tr> <tr> <td>三中地区公民館回収</td> <td>平成26年 3月22日（土）</td> </tr> </table>				環境展	平成25年11月 2日（土）	三中地区文化祭	平成25年11月17日（日）	三中地区公民館回収	平成26年 3月22日（土）									
環境展	平成25年11月 2日（土）																	
三中地区文化祭	平成25年11月17日（日）																	
三中地区公民館回収	平成26年 3月22日（土）																	
・回収量 (単位：kg) <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 目</th> <th>回 収 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>携帯電話</td> <td>31.07</td> <td>携帯電話端末、PHS端末</td> </tr> <tr> <td>高品位品</td> <td>1,372.00</td> <td>市が指定した33品目</td> </tr> <tr> <td>低品位品</td> <td>6,416.00</td> <td>市が指定した品以外の小型家電特定品目</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,819.07</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				品 目	回 収 量	備 考	携帯電話	31.07	携帯電話端末、PHS端末	高品位品	1,372.00	市が指定した33品目	低品位品	6,416.00	市が指定した品以外の小型家電特定品目	合 計	7,819.07	
品 目	回 収 量	備 考																
携帯電話	31.07	携帯電話端末、PHS端末																
高品位品	1,372.00	市が指定した33品目																
低品位品	6,416.00	市が指定した品以外の小型家電特定品目																
合 計	7,819.07																	
・処理業者 (株)リーテム(認定事業者) ・売払金額 64,653円																		
《環境省「小型電子機器等リサイクルシステム構築事業」》																		
・実証事業採択日 平成25年4月8日																		
・実証事業期間 平成25年8月～平成26年3月(10月から回収実施)																		
・実証事業において準備した備品等（環境省から現物支給） <table border="0"> <tr> <td>拠点回収用ボックス</td> <td>11台</td> </tr> <tr> <td>広報啓発用チラシ</td> <td>65,000枚</td> </tr> <tr> <td>のぼり及び関連品</td> <td>20組</td> </tr> <tr> <td>展示用パネル</td> <td>5枚</td> </tr> <tr> <td>冊子「資源とごみの出し方」</td> <td>60,000冊</td> </tr> </table>				拠点回収用ボックス	11台	広報啓発用チラシ	65,000枚	のぼり及び関連品	20組	展示用パネル	5枚	冊子「資源とごみの出し方」	60,000冊					
拠点回収用ボックス	11台																	
広報啓発用チラシ	65,000枚																	
のぼり及び関連品	20組																	
展示用パネル	5枚																	
冊子「資源とごみの出し方」	60,000冊																	
 携帯電話、カメラ、電源コード など35品目を拠点回収																		
 回収ボックス																		
【事業の成果】																		
第2次ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、新たな分別である小型家電回収の実施により、更なるごみの減量化及び再資源化を図りました。また、平成25年度は、環境省の実証事業により備品等が現物で支給されたため、市からの支出を伴うことなく回収事業を実施することができました。 なお、平成26年度には拠点回収箇所を小売店や公共施設など数か所拡大するほか、回収量増のための回収方法を検討します。																		

款	衛生費	項	清掃費			
事業名	ごみ焼却施設整備事業・管理型最終処分場延命化事業					
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり					
決算額	66,526千円	財源内訳	国県支出金等	726千円	一般財源	65,800千円

【事業の概要】

(単位：千円)

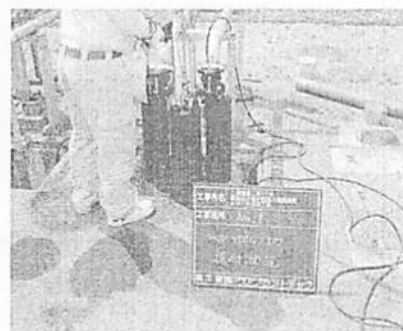
実施内容	事業費
1 清掃センター長寿命化	
・ 基本設計	2,342
・ 生活環境影響調査	4,515
2 清掃センター設備機器類の更新	
・ 灰押出装置更新工事 3炉の内の1つ、1号炉の更新を行いました。 今回で、3炉全ての更新が完了しました。	29,978
・ クレーン走行レール・車輪更新工事 破損したレールと車輪の取替えを行いました。	8,085
・ クレーン用シーケンサー更新工事 平成4年竣工後、初めての更新を行いました。	9,314
3 最終処分場設備機器類の更新	
・ 新設処分場埋立地返送ポンプ取替工事	1,218
・ 調整槽水中ブロウ取替工事	6,023
・ 凝集沈殿掻寄機更新工事	2,804
・ 新設処分場取水ポンプ取替工事	1,218
・ 放流ポンプ取替工事 老朽化のため、更新を行いました。	1,029
計	66,526



灰押出装置



クレーン走行レール



調整槽水中ブロワー

【事業の成果】

清掃センター長寿命化のため、平成24年度に策定した清掃センター長寿命化基本計画に続き、基本設計・生活環境影響調査を実施し、改修工事の準備を進めました。また、老朽化した設備・機器類の更新を年次的・計画的に行うことにより、清掃センター及び最終処分場の機能が回復し、適正な施設の運営を図ることができました。

款	衛生費・消防費・教育費	項	環境保全対策費・消防費・小学校費・中学校費
事業名	地球温暖化防止対策事業/小・中学校太陽光発電設備設置事業		
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	138,558千円	財源内訳	国県支出金等 108,382千円 一般財源 30,176千円

【事業の概要】

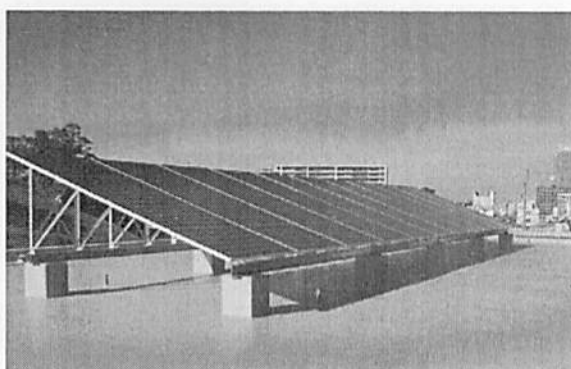
市民・事業者の積極的な行動につなげていくために、あらゆる機会を通して啓発活動を実施するとともに、公共施設への太陽熱温水器の設置や省エネルギー推進により、温室効果ガスの削減を図りました。さらに、廃食用油の回収拠点を増設し、代替燃料（BDF）として再利用することで、循環型社会の形成を推進しました。

(単位：千円)

事業名称	事業費
1 住宅用環境配慮型設備導入補助事業	21,827
・太陽光発電システム 159件	17,637
・高効率給湯器等 97件	4,190

(単位：千円)

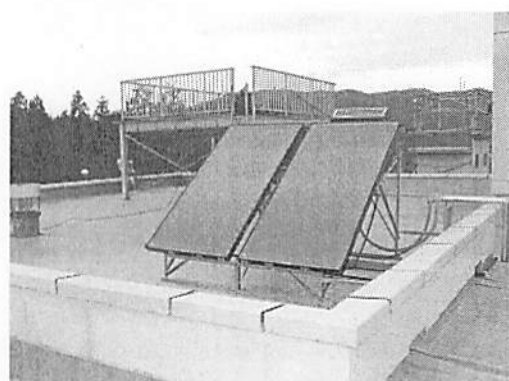
事業名称	事業費
2 小中学校太陽光発電設備設置事業	111,300
・土浦小学校 50kW, 蓄電池容量 67.2kWh	64,785
・土浦第二小学校 20kW	23,520
・土浦第四中学校 20kW	22,995



土浦第二小学校の太陽光発電パネル

(単位：千円)

事業名称	事業費
3 太陽熱温水器設置事業	1,297
・新治消防署 集熱パネル2枚 (4㎡) CO ₂ 削減量：396kg-CO ₂ /年	1,297



新治消防署の太陽熱温水器

(単位：千円)

事業名称	事業費
4 省エネ法※対策事業	1,764
・省エネ法対策調査委託 市の対象施設の現地調査を行い、省エネ化の可能性の検討及び期待効果や必要経費の算定を行いました。	1,764

※エネルギーの使用の合理化等に関する法律

(単位：千円)

事業名称	事業費
5 地球温暖化防止啓発事業	827
・温暖化防止キャンペーンの実施	-
・環境展の開催	561
・公用車用にエコドライブステッカーを貼付	51
・エコドライブ啓発看板設置（本庁舎、モール505）	215
・土浦エコパートナー協定の締結 （4社締結 合計22社）	-



地球温暖化防止キャンペーン



公用車用エコドライブステッカー

(単位：千円)

事業名称	事業費
6 市役所率先事業	804
・グリーンカーテンの実施	804
・宇宙アサガオ普及拡大	

グリーンカーテンコンテスト
事業所・公共施設部門最優秀賞（六中地区公民館）

宇宙アサガオ

(単位：千円)

事業名称	事業費
7 廃食用油拠点回収事業	739
・回収拠点の新設等 1箇所新設（合計23箇所）	739



JAサンフレッシュはすの里の回収ボックス

【事業の成果】

地球温暖化対策は、あらゆる主体が継続的かつ積極的に取組を実践していくことが重要です。公共施設における環境配慮設備の率先導入や啓発活動を通して、市民の環境意識の醸成は徐々に図られつつあり、新たな行動へとつながることが期待されます。

なお、省エネ法の特定事業者である本市の改善状況は、「過去5年間でエネルギー使用に係る原単位を年1%以上改善」という目標に対して、市長部局で平成21年度比16.3%削減（前年度比1.8%減）、教育委員会事務局で18.1%削減（前年度比6.3%増）と、大きく達成することができました。

款	衛生費	項	環境保全対策費
事業名	アオコ対策事業		
施策の大綱名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	1,026千円	財源内訳	国県支出金等 269千円 一般財源 757千円

【事業の概要】

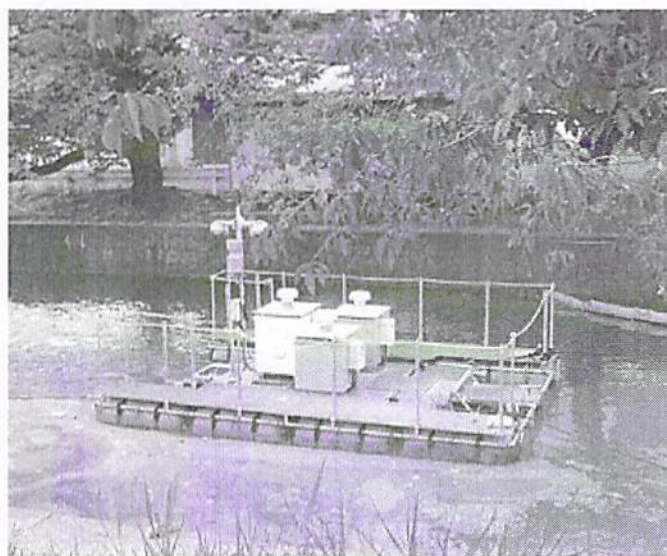
平成23年度に13年ぶりにアオコが大発生し、土浦港船溜まり等で集積したり、流入河川を遡上して集積したアオコが腐敗した悪臭等により、市民生活に多大な影響を及ぼしました。平成24年度も発生したため、平成25年度は、対策として関係機関との連携・協力体制により、アオコの回収等の対策事業を実施し、快適な生活環境の保全を図りました。

(単位：千円)

実 施 内 容	事業費
・アオコ等回収作業委託 実施日数 2日, 回収量 68,430kg	539
・オイルフェンス購入	247
・アオコ監視カメラ設置委託	240
合 計	1,026



アオコ回収作業の様子（新川）



アオコ抑制装置（茨城県が設置）
（新川：土浦税務署前）

【事業の成果】

関係機関との緊密な連携・協力体制を構築し、早期に対策を実施したことにより、悪臭等の発生を大幅に抑制でき、快適な生活環境の保全を図ることができました。

款	衛生費	項	環境保全対策費
事業名	放射線対策事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	19,840千円	財源内訳	国県支出金等 14,044千円 一般財源 5,796千円

【事業の概要】

- 1 放射性物質汚染対処特別措置法に定める「除染実施計画」に基づき、除染を実施するとともに平成24年度に除染を行った右糸小学校などの校庭の芝生再生事業を行いました。
また、事故発生から3年余が経過したことから、市全域の汚染状況を再度把握するため、モニタリング調査を実施しました。

2 除染状況

①公共施設

(単位：千円)

施設の種別	除染実施施設数	除染内容	事業費
公園	3	スポット除染	1,580

②一般住宅（市内全域が対象）

(単位：件)

年 度	測定件数	うち除染件数
平成24年度	707	48
平成25年度	10	1
計	717	49

3 芝生再生事業

平成24年度に除染のため校庭・園庭の芝生を剥ぎ取った施設について、芝生の植付けを実施しました。

[右糸小学校芝生植付事業]

(単位：千円)

施設の種別	実施施設数	事業費
保育所・児童館	4	2,814
幼稚園	2	2,142
小学校	1	6,174
計	7	11,130

4 モニタリング事業

平成23年度に実施した調査と同様の箇所において、空間放射線量率の測定を実施しました。

(単位：マイクロヘルツ/時間)

実施期間	測定箇所数	測定値
平成24年1月～ 平成24年3月	2,340	最高値 0.36
		最低値 0.05
平成25年10月～ 平成26年1月	2,340	最高値 0.22
		最低値 0.04



芝生植付け前（平成25年6月）



芝生植付け後（平成25年9月）

【事業の成果】

公共施設では、継続的なモニタリングを行い、国の基準を超えた施設において除染を実施し、生活空間の放射線量を基準値以下に抑えることができました。また、平成24年度に国の基準を超えた校庭等の芝生の剥ぎ取りを実施した施設において、芝生の再生に取り組み、福島原発事故前と変わらない状態となりました。さらに、平成23年度の市内全域調査時では、桜川以南の地域が国の基準を超えていましたが、今回の調査で全ての地点において基準を下回っていることが確認することができ、広報紙等を通じて、市民に情報提供しました。今後も、引き続き、情報等を発信し、安心安全な生活空間の確保に努めていきます。